

## 陸前高田発

### 仮設住宅「お別れ会」

被災した3つの県で最初に建設され入居が始まったのも最初だった仮設住宅が来月、閉鎖されることになり、「お別れ会」が開かれました。この仮設住宅は陸前高田市立第一中学校のグラウンドに整備されたもので、今も入居している住民のほか自宅再建や災害公営住宅への転居で仮設住宅を卒業した人たちなど約150人が参加しました。会では女性たちによる踊りも披露され、会場には笑顔が広がっていました。(2/24 ニュース)



陸前高田市立第一中学校のグラウンドに整備されたもので、今も入居している住民のほか自宅再建や災害公営住宅への転居で仮設住宅を卒業した人たちなど約150人が参加しました。会では女性たちによる踊りも披露され、会場には笑顔が広がっていました。(2/24 ニュース)

陸前高田市立博物館の収蔵庫で津波に飲み込まれたものの、修理の末、奇跡的に音が出るようになった昭和初期に活躍した「奇跡のオルガン」の演奏会が盛岡で行われました。盛岡の県立博物館でピアニストの中村由利子さんがバイオリンや歌も交え15曲を披露しました。(3/3 ニュース)

## 盛岡発

### 「奇跡のオルガン」演奏会

陸前高田市立博物館の収蔵庫で津波に飲み込まれたものの、修理の末、奇跡的に音が出るようになった昭和初期に活躍した「奇跡のオルガン」の演奏会が盛岡で行われました。盛岡の県立博物館でピアニストの中村由利子さんがバイオリンや歌も交え15曲を披露しました。(3/3 ニュース)



## 宮古発

### 櫛の歯作戦の看板設置

震災発生直後に被災地で展開された救命、救難ルートの確保に向けた取り組みを後世に伝えるための看板が宮古市に設置されました。東北地方整備局と岩手、宮城、福島の前被災3県などで作る実行委員会が整備したもので、看板のタイトルは「くしの歯作戦」です。津波で孤立した岩手の沿岸部へ内陸の国道4号から「くしの歯」の様に伸びる道路が最大限に活用されたことが記されています。(3/5 ニュースエコー)



## 陸前高田発

### 桜ライン311で植樹

一関市の県立大東高校の2年生31人が陸前高田市を訪れ、震災の犠牲者へ黙祷を捧げた後、津波の到達地点に3メートルほどに育ったオオヤマザクラの苗木を5本植えました。これはNPO法人「桜ライン311」の活動に賛同し、5年前から授業の一環として行っているものです。かさ上げされた市街地を望む米崎町の小高い丘でのこの活動は、生徒たちが防災について考える機会にもなっています。(3/5 ニュースエコー)



## 宮古発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの箱石文彦さんが、冬の味覚・毛ガニを思う存分楽しめる「第16回宮古毛ガニ祭り」について伝えてくれました。3月4日に宮古市魚市場の特設会場で開かれます。今年は順調に毛ガニが水揚げされていて、味も良いそうです。「毛ガニ祭り」では、『毛ガニの一本釣り』や『輪投げで毛ガニをゲット!』、『毛ガニ体験競り市』などのイベントのほか、様々なステージショーも行われます。そしてお楽しみの「毛ガニ汁大鍋お振る舞い」は300食を用意。たくさんのお客さんが来るのを待っているという事です。(2/28)

## 大船渡発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが3月1日に開院した新県立高田病院について伝えてくれました。津波で全壊し多くの犠牲者も出た旧高田病院ですが、震災後は仮設診療所で診療を行っていました。高田町にできた新県立高田病院は、鉄筋コンクリート構造、2階建て。内科、外科、小児科、整形外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科の8つの科があり一般病棟は60床あります。本設開院した高田病院は、安心して暮らせる地域づくりのために信頼される医療を提供していくという事です。(3/7)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122